

応援してください！

子ども・若者の育ちをささえる「経験・体験」そして輝く未来を！

子ども・若者 応援基金

2024年度
実施報告



社会福祉法人北区社会福祉協議会

2025年9月発行

ごあいさつ

会長挨拶

「子ども・若者応援基金」の趣旨にご賛同いただき、ご支援・ご協力を賜りました皆さまに、心より感謝申し上げます。

この基金は、未来を担う子どもや若者が安心して育ち、自分の力と可能性をのびのびと発揮できるように、地域のみんで応援していこうという思いから、令和3年度にスタートしました。

この1年、物価の上昇や社会経済の変化の中で、生活に不安を抱えるご家庭や、孤立しがちな子ども・若者を取り巻く環境がこれまでより一層難しくなっています。そんな中で、地域のみなさまから寄せられた温かいご寄付や応援の声、ご協力の輪の広がりは、支援を必要とする子どもたちにとって大きな希望となっております。

今後とも、皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



社会福祉法人北区社会福祉協議会
会長 田中 義正

委員長挨拶

北区の子ども・若者応援基金は、設立から4年目を迎えました。

個人チャレンジでは小学生から大学生まで、それぞれが目標をもって取り組むスポーツやアートなどのチャレンジを応援してきました。

また、団体チャレンジでは、地域の大人たちが知識、経験、そしてチームの力を生かして、子どもたちにプラスアルファの体験の機会を用意してくださっています。

こうしたチャレンジの中での様々な方との出会いも子どもたちの力になっています。

この取り組みを支えてくださっているすべての皆様に心よりお礼申し上げます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



子ども・若者応援基金運営委員会
委員長 小田川 華子



個人チャレンジ助成

個人チャレンジ助成は、子ども・若者の経験・体験を応援する助成制度です。子どもたちのチャレンジしたい気持ちを応援し、文化活動、スポーツ、学習、交流などの分野で活動する子ども・若者の夢や目標に向けて取り組むきっかけとなるように費用を助成します。（最大30万円）



PICK UP

個人チャレンジ助成① [水泳]

水泳大会でジュニアオリンピックをめざす

【参加者】中学2年生 【基金の使い道】試合用水着、月謝、強化合宿費など

生活環境が一変し、大好きな水泳が続けられるかどうかという不安もありました。今年は、基金を活用して全国中学校水泳競技大会の標準記録突破し、ジュニアオリンピックに出場することを目標に1年間取り組みました。

——今回、子ども・若者応援基金に応募した理由を教えてください。

1年前に父が病気で亡くなって今までのように水泳を続けるのが難しくなりました。そんな時にこの基金の募集を見て、応募しました。

——水泳は何歳ごろからやっているのですか？

幼稚園の時に初めて最初は水に顔をつけるのも怖かったですが、今は泳ぐことが大好きになりました。

——今回の助成金はどのようなことに使いましたか？

月謝や合宿代などに使って、いままでのように練習に参加することができました。水着は消耗が激しいのですが、その購入もすることができました。あとは、強化合宿にも参加して、厳しい練習を乗り越えました(笑)

——水着はかなりタイムに影響が出そうですね。

そうです。試合用は高額なので、練習用と使い分けています。消耗するとタイムが変わってしまうので頻繁に買い替える必要があります。

一番タイムに影響が大きいのは試合に参加することです。試合に向けて練習をしているので、タイムが更新できた時はすごくうれしいのですが、悔しい想いもたくさんしました。その悔しさをバネに練習を頑張りました。

——この1年で一番うれしかったことはどんなことですか？

目標だったジュニアオリンピックに出場できたことです。今回は団体での出場でしたが、次は個人種目で出場して良い成績を収められるよう頑張ります。

——ジュニアオリンピックに出場した感想を教えてください。

東京のアクアティクスセンターで行われたジュニアオリンピックに出場しました。いつもの大会とは異なり、厳しい標準記録を突破したジュニア選手のみが全国から集まって戦う大会のため、とても緊張しました。普段交流することのない他府県から来た選手と話すことができ、とても楽しかったです。結果としては予選敗退となりましたが、次は個人での出場のために練習を頑張っています。

——これからさらに頑張りたいことはありますか？

水泳の練習はもちろんのこと、高校受験に向けて勉強も頑張りたいです。昨年は英検と漢検を取得しました。将来は泳げる放射線技師になりたいと思っているので、勉強も一生懸命頑張ります。

——なぜ放射線技師に？

父のように病気で苦しむ人を少しでも減らすために、病気を早期発見できると思ったのが放射線技師だからです。

——水泳と放射線技師の二刀流はかっこいいですね！

——最後にご寄付いただいた方へのメッセージをお願いいたします。

寄付をしてくれた皆さんのおかげで自分の目標に向かって頑張ることができました。

来年も将来の夢や目標に向かって、何事も最後まで諦めず全力で頑張りたいと思います。

1年間応援していただきありがとうございました！



Special Thanks



城北信用金庫 久良知 美帆 様（写真左）

城北信用金庫 Johoku Athletes Clubで2024年までフェンシング（フルーレ）の選手として活躍。学生時代や世界大会についてインタビューさせていただきました。

—— 基金に応募したきっかけは？

道具が高額で購入できなかったで、レンタルして練習をしていました。道具を持っていないと試合に出場できず、とても悔しかったです。この基金を知って、道具をそろえて試合に出場したいと思って応募しました。

—— 基金を使ってどんなことができましたか？

道具を揃えて初めて試合に参加することができました。勝つことはできませんでしたが、悔しさをパワーに変えて勝てるようになりたいです。

—— このチャレンジで印象的だったことは何ですか？

世界で活躍された久良知さん（城北信用金庫ご所属で昨年2024年に引退）にインタビューさせてもらえたことです。学生時代や世界大会などのお話なども聞くことができ、これからもっと頑張りたいと思いました。

—— この経験からどんなことを学びましたか？

周りにはたくさん強い人がいることを知り、人生は甘くないと思いました。

でも、くじけながらも頑張ることにより経験をjして成長していきたいです。

—— ご寄付いただいた方々にメッセージをお願いします！

この基金を使って、初めて試合に参加することができ、練習だけでは経験できなかったことを経験できました。応援ありがとうございました！！

個人チャレンジ助成 ② [フェンシング]

フェンシングの公式戦に出場する

【参加者】高校1年生 【基金の使い道】フェンシング用具、月謝、交通費など

INTERVIEW

—— 基金に応募したきっかけは？

これまでバドミントンができる環境を作ってくださったコーチや家族に恩返ししがたくて、結果を出すことが恩返しになると思ってこの基金に応募しました。

—— 基金を使ってどんなことができましたか？

基金で用具をそろえることができ、一年間とても心地よくプレイすることができました。また、練習機会も増えたことで、大幅に技術が向上し、団体戦のダブルスでは関東予選に出場することができました。

—— 結果を残すために相当努力されたと思いますけど

道具がそろってストレスなく練習することができたことがとても大きかったと思います。高校に進学して環境が変わりましたが、今まで以上に真剣に練習に打ち込みました。

—— ご寄付いただいた方々にメッセージをお願いします！

寄付してくれた方々のおかげで、心身ともにストレスなく一年を過ごすことができました。大きな結果は残せませんでしたが、この経験は必ず次に活かしたいと思います。

改めて、今回寄付してくださった方々に感謝します。ありがとうございました！

個人チャレンジ助成 ③ [バドミントン]

高校でインターハイ(全国大会)出場をめざす

【参加者】高校1年生 【基金の使い道】競技用具、合宿費など



Special Thanks



東京藝術大学 社会連携センター 伊藤 達也 教授

使用する画材、デッサン、色の付け方など油絵の基本を教えていただきました。何度も個人レッスンをしていただき自画像を描きました。

個人チャレンジ助成 ④ [西洋美術]

ダヴィンチのような古典技法を学ぶ

【参加者】中学1年生 【基金の使い道】キャンパス、絵の具、画材道具など

—— 基金に応募したきっかけは？

以前から剣道に興味があったのですが、挑戦できる機会がありませんでした。そんな時にこの基金を知って応募することに決めました。

—— どうして剣道に興味を持ったのですか？

剣道を通して、礼儀を重んじ、他者を尊重できる大人になりたいと思ったからです。

—— 1年間でどんなことを学ぶことができましたか？

稽古に励み、初段審査に合格することができました。最初は一人でも稽古はできるものだと思っていましたが、剣を交える相手、指導してくれた先生、家族など多くの方から支えられていることに気づきました。

—— 今後、取り組みたいことはありますか？

剣道を一生涯続けていきたいと思ったので、これからも頑張りたいと思います。剣道を通して学ぶことができた礼儀作法なども大切にしていきたいです。

—— ご寄付いただいた方々にメッセージをお願いします！

寄付で応援してくださった皆様、誠にありがとうございます。稽古は厳しいものでしたが、剣を交える相手がいるということは貴重なことだということに気づきました。今後は二段昇進審査の合格と、目指しているまっすぐな剣道ができるよう引き続き頑張っていきます。剣道に出会えたこと、楽しい思い出や悔しい思い出ができたこと本当に感謝しています。

—— 基金に応募したきっかけは？

絵を描くことが好きでレオナルド・ダ・ヴィンチのような画家になりたいという夢があります。しかし、絵具やキャンパスなどが購入できず、いつもスケッチブックに鉛筆でデッサンをしていました。この基金で道具をそろえて大きな絵を描いてみたいと思って応募しました。

—— 基金を使ってどんなことができましたか？

道具をそろえて油絵に挑戦できただけでなく、東京藝術大学の伊藤達也教授に協力してもらい、道具の準備から絵具の使い方、自画像の描き方を教えてもらうことができました。（伊藤教授には社協からご協力をお願いし、ご快諾いただきました。）

—— 初めて油絵に挑戦してみてどうでしたか？

伊藤先生がマンツーマンで授業をしてくれて、油絵の基本を教えてもらいました。絵具を乾かすのに時間がかかって、夏休みをかけて一つの作品に取り組みました。絵具を使うのはとても緊張しました。

—— 協力いただいた伊藤先生、ご寄付いただいた方々にメッセージをお願いします！

お忙しいなか、伊藤先生に何度も個人レッスンをしてもらい、西洋美術への理解を深めることができました。今は、東京藝術大学に入って絵を学ぶという夢ができました。そしていつかレオナルド・ダヴィンチのような画家になりたいです。本当にありがとうございました。

個人チャレンジ助成 ⑤ [剣道]

剣道で技術や礼儀作法を身に付ける

【参加者】高校2年生 【基金の使い道】月謝、昇段試験審査料・登録料など



団体活動助成

団体活動助成は、子ども・若者の様々な経験、体験に繋がる活動（居場所、遊び場、学習、キャリア教育、ふれあい、ワークショップなど）を実施、提供する団体活動に対して助成をします。（最大30万円）

団体活動助成 ①

きりがく

「経済的に塾に通えない」「北区の学習支援教室の対象にならない」など、学習面で心配な子どもがいるという地域の声を受けて、大学生を中心に2022年に立ち上げた団体です。桐ヶ丘地域の子どもたちに家や学校、公的な居場所でもないサードプレイスを提供し、子どもたちの居場所づくりと学習支援を行っています。民生・児童委員、青少年地区委員、子ども食堂スタッフなどの地域の大人たちの支えも受けて活動しています。

内容

学習支援

参加者

小・中学生5～6名

基金の使い道

保険料など

活動報告



毎月1回、桐ヶ丘地区で子どものやりたいことに合わせて遊んだり宿題をしたりしています。また、他団体と共に活動し様々な体験ができるように工夫しています。参加者に宿題を持参してもらい、学習面でわからないところをサポートするだけでなく、工作などの遊びを行うことで自己表現の場を提供しています。



団体からのメッセージ



基金をいただいたことで、子どもたちの安全な居場所をつくることができました。今後も子どもたちが楽しめる活動にしていきたいと考えております。運営メンバーも看護師や社会福祉士を目指す学生も多く、活動を通して人との関わりや地域福祉の大切さについて学んでいます。地域の皆さんにご協力いただきこの活動は成り立っています。ご支援いただきありがとうございました。

団体活動助成 ②

北区で子どもの遊ぶ場をつくる会

子どもたちが自ら育つ環境を作るために子どもがのびのびと自由に過ごせる場『プレーパーク(冒険遊び場)』の運営をしています。

事業名

未来のために今、遊ぶ！

参加者

乳幼児～中高生

基金の使い道

協力者謝礼、広報費、消耗品費など

活動報告



子どもたちの体験格差を解消するため、北区内の身近な公園で普段はできない体験ができる「遊ぶ場」を用意し、子どもたちが自ら考えて、「やりたいこと」に挑戦できる環境を整えました。夏休みの4日間(8月24日～8月27日)に北区立中央公園でプレーパーク(冒険遊び場)を開催し、4日間で延べ665名が参加しました。



団体からのメッセージ



子どもにとって夏休みは、自由にとことんやりたいことをやれる貴重な期間のはずですが、現実とはそうではありません。保護者が多忙であったり、経済的に余裕がなかったり、親自身にそういった体験がなかったり、など背景は様々ですが、体験格差が広がっています。このたびは、みなさまのご寄付により、延べ665名が夏休みの数日を豊かな遊びの中で過ごすことができました。この体験は、きっと今後の人生の糧になると思います。ご支援いただきましたこと、心から感謝申し上げます。

シャッターズ。

東京家政大学造形表現学科の学生3名で今回の「シャッターアートプロジェクト」のために結成したグループです。

事業名
シャッターアートプロジェクト

参加者
ワークショップ-小学生家族14世帯

基金の使い道
塗料代、筆代、ワークショップ道具代など

活動報告



町会長と協力して、上三会館(上十条3丁目)のシャッターに十条と昔からゆかりのある富士山をメインに、道と街を明るく照らすデザインを描きました。大学で学んだものづくりに対する姿勢を活かし、地域とアートの架け橋を作るために活動しました。シャッターアートの製作の前には小学生を対象にワークショップを開催しました。シャッターの波模様の中は、ワークショップで地域の子どもたちに考えていただいた模様となっており、地域と共にあるよう手掛けました。

団体からのメッセージ



私たち大学生には挑戦してみたい事がたくさんあります。でもいつも壁になるのは資金。やりたいのに出来ない。そんな歯がゆい思いをしてきたものです。そんな中、「やりたい!!!」をサポートしてくれる存在がある事、とてもありがたく思います。みなさまのサポートを頂きながら、作り上げたものが地域と共にあること、とても嬉しく感じています。ありがとうございました！

子ども・若者応援基金2025年度助成事業のご紹介

子ども・若者応援基金が広がり、たくさんの方からあたたかなお気持ちをお寄せいただいています。みなさまからの力強いご支援により、2025年度は昨年よりも多くの子ども・若者の挑戦を応援することができています。

応募状況

助成年度	助成金額	個人チャレンジ助成			団体活動助成		
		応募件数	採択	不採択	応募件数	採択	不採択
2023年度	1,200,000円	1	1	0	3	3	0
2024年度	1,390,000円	16	5	11	6	3	3
2025年度	1,500,000円	29	8	21	4	2	2

個人チャレンジ助成

採択者	取り組み	概要
大学生	箏(こと)	一人でも多くの人に箏の音色を届けたい(御前演奏の経験あり)
大学生	サックス	国内で最も権威のあるコンクールで優勝を目指す
中学生	水泳	ジュニアオリンピックに個人種目で出場を目指す(団体で出場経験あり)【2年連続採択】
中学生	卓球	あと1勝で全国大会に出場できたので中学最後に全国大会出場を目指す
中学生	サッカー	高校にサッカーで入学できるよう技術を向上させたい
中学生	西洋美術	レオナルド・ダ・ヴィンチのような画家になりたい【2年連続採択】
小学生	バレーボール	カッコいいスパイクを決めて低身長でもできる事を証明したい
小学生	空手	自分の身を守るために強くなりたい

団体活動助成

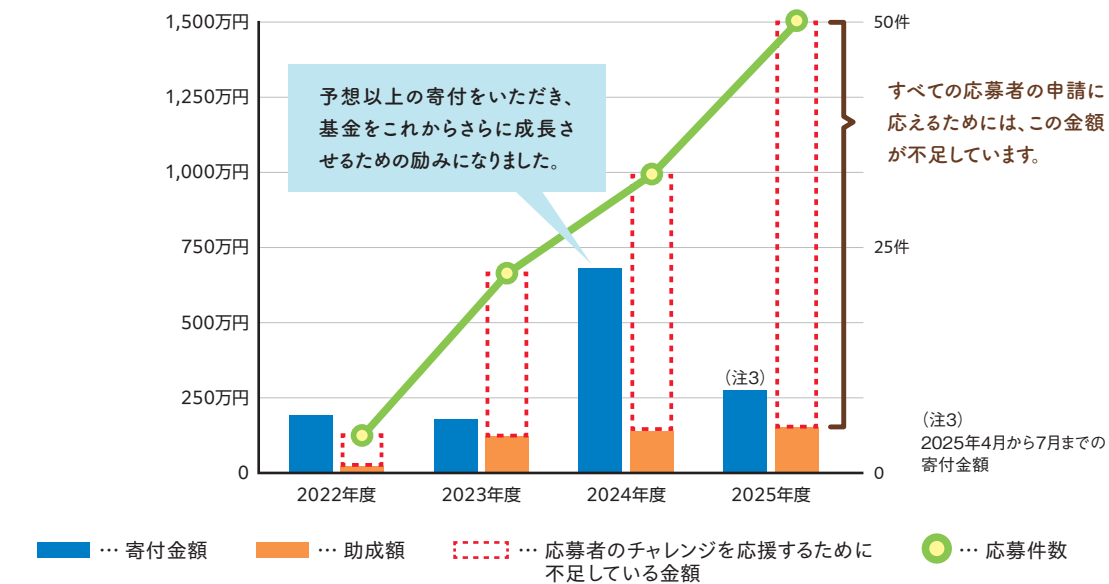
団体名	事業名	概要
チャレンジプロ	小中学生向けプログラミング教室	プロのエンジニアや大学教授によるPythonを用いたプログラミング教室
カスミソウ自由登校を見守る会	不登校の子どもと地域のプロをつなぐ伴走型職業体験事業	家から出にくい子どもの声を拾い、一緒に話し合いながら地域でやりたいことを実現していく伴走型職業体験事業

応募と寄付の状況

子ども・若者応援基金はみなさまからのご寄付を財源に子ども・若者を応援するための助成事業を行っています。おかげさまで令和6年度は多くのご寄付をいただくことができました。いただいたご寄付は翌年度以降の助成金、運営費として活用させていただきます。

年度	寄付金額	すべてを採択するために必要な金額	応募件数	採択件数	助成額	広報費
2022年度	1,925,457円	1,200,000円	4件	2件	210,000円	1,050,000円
2023年度	1,781,219円	6,600,000円	22件	4件	1,200,000円	1,360,000円
2024年度	6,822,483円	9,900,000円	33件	8件	1,391,000円	660,000円
2025年度	^(注1) 2,752,223円	15,000,000円	^(注2) 50件	10件	1,500,000円	1,380,000円

(注1) 2025年4月から7月までの寄付金額 (注2) 見込み応募件数



採択できなかったチャレンジ(例)

・書道を通して自分を表現し、人に感動を与えたい (小学6年生)

【応募のきっかけ】 墨や半紙などが高騰してあまり練習ができていないため、助成金で道具を購入したい。

・沖縄の固有種(昆虫)を観察する (小学1年生)

【応募のきっかけ】 没頭している昆虫研究を沖縄で行うため、交通費や宿泊費に活用したい。

その他：バイオリン(2件)、トランポリン、ピアノ(4件)、川遊び、スイミング、アウトドア体験、京都旅行、日本舞踊、英会話(2件)、スキー、剣道、津軽三味線、学習塾

このように芸術、スポーツ、学習など採択できなかったチャレンジがたくさんあります。
1件でも多くのチャレンジを採択するためにみなさまからのご寄付をお待ちしております。



ご寄付いただいたみなさま

〔企業・団体〕

北区の子ども・若者の経験・体験を応援します。

**アビリティクラブたすけあい北区
たすけあいワーカーズひよこ**

子どもたちの未来を応援します。

ライト株式会社

北区中里 2-28-12

地域に寄り添い、笑顔のたえない まちづくり 未来創造

“地産地活”のまちづくりを
「もっと良くする、なければ創る」の
情熱で切り拓き続ける私たち一人ひとり

FRONTLINER

① 恒栄電設株式会社
代表取締役社長 小林 永治
http://www.koei-densetsu.co.jp

夢をかなえるパートナー

城北信用金庫

Johoku Shinkin

～空気・水 毎日の暮らしを設備で支える～

ANES アネス株式会社

空調設備・給排水衛生設備・生産支援設備

〒114-0005 東京都北区柴町1-3 TEL: 03-3913-4123 (代表)

TOKYO ink

東京インキ株式会社

「伝える」「彩る」「守る」ことで、豊かな未来を実現する

Rotary
Club of Tokyo Oji

HIDA LABOR UNION

コモディイイダ労働組合

北区群馬県人会 ピンポット滝見会 (株)ティーワイズコーポレーション 豊島堀船地区民生委員・児童委員協議会
東京北ライオンズクラブ 瀧野川信用金庫 北区商店街連合会 北区で子どもの遊び場をつくる会
桐ヶ丘地区民生委員・児童委員協議会 (公社)王子法人会 王子地区民生委員・児童委員協議会
(公社)東京青年会議所北区委員会 堀船町会自治会連合会 滝野川自治会連合会 北区青少年堀船地区委員会
西ヶ原地区民生委員・児童委員協議会 滝野川小原自治会 赤羽保育園保護者会

その他個人の方から 105件 3,887,000円のご寄付をいただいています。



ご支援のお願い

多くの子ども・若者の夢をかなえるために、みなさまからのご寄付をお待ちしています。

● 個人

本基金へのご支援は確定申告をすることで「税額控除」を受けることができます。
遺贈・相続財産のご寄付もご相談ください。
本基金への遺贈・相続財産からのご寄付には、相続税がかかります。

● 企業・団体様

ご支援いただいた企業・団体様は次年度の基金紹介冊子に金額に応じてバナー・お名前を掲載させていただきます。

本基金へのご支援は「損金算入」ができます。

【ご寄付相談窓口】

北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金
TEL: 03-3906-2352 E-mail: kodomo@kitashakyo.or.jp





子ども・若者 応援基金

寄付ご相談窓口
企業・団体様ご支援窓口

社会福祉法人北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金

TEL: 03-3906-2352

E-mail: kodomo@kitashakyo.or.jp

子ども・若者の夢・未来の応援のお願い

1 資金で応援する

基金へいただいたご寄付は、翌年度の事業資金として、子どもたち、若者たちの活動への助成金等で使用されます。

2 経験・体験で応援する

職業体験等のプログラム提供や、子どもたちのチャレンジする場の提供や協力で応援していただいております。

3 広報で応援する

基金の活動を広めるための広報活動(社内外等と呼びかけるなど)をご協力いただくことで、基金への支援が広がります。



ホームページはこちらのQRコードから
アクセスいただけます。

表紙イラスト：東京家政大学造形表現学科 高橋真結氏
ロゴデザイン：東京家政大学造形表現学科 田中優衣氏

お問合せ：社会福祉法人北区社会福祉協議会 子ども・若者応援基金

TEL: 03-3905-6653 E-mail: kodomo@kitashakyo.or.jp